

# ほつ寺通信

第9号

平成28年3月1日  
<発行責任者>  
(住職)藤野慶正

## 春の彼岸

**3月17日（彼岸入り）**  
**3月20日（中日・春分の日）**  
**3月23日（彼岸明け）**

まもなく春の彼岸を迎えます。

この期間内、混雑が予想される19日（土）～21日（月）に交通整理をお願いする予定ですが、参詣の際は、異々も事故の無いようお気を付けてお越し下さい。

皆さんご存じの通り、春の彼岸は、春分の日を挟んだ7日間。今年の春分の日は日曜ですので翌日が振替休日となります。会社によっては三連休となりご旅行等を計画されている方もいらっしゃるでしょう。お気を付けてお出かけ下さい。そして余裕がありましたら、後日、お墓参りをされ、ご先祖様にお土産話でもされてはいかがでしょうか。ご先祖あつての私たちで御座います。阿弥陀様そしてご先祖様と向き合い・語り合い、ご自身の人生を見つめ直す良いご縁となりますよう、寺族共々皆様の参詣をお待ちしております。

また、今回初の試みとなりますが、新休憩所にて、プチ写経会や昨年の開山四百年記念法要の上映会を行おうかと考えています。特に後者は、記念法要にご参加頂けなかつた方に、当日の雰囲気を味わつて頂けるかと思います。まだどのようなスケジュールで行うか検討中ですが、19日（土）～21日（月）の午後を候補として考えています。詳細が決まりましたら（一週間前までに）、ホームページや休憩所の掲示板に掲載する予定です。基本的に、日に2枠程度、費用不要の自由参加とします。大丈夫かと思いますが、定員オーバーの際はご容赦下さい。

## 永代供養合同法要

3月20日（日）午後2時

正山寺永代供養「正安の縁」が発足してから初のお彼岸を迎えており（現在8名）、永代供養墓の設置は時代の要請だったのかも知れません。何より、会員になられた方から、「安心しました」と感謝の辞を頂けることも多く、こちらとしても安心しました。

さて、この場を借りて、永代供養に納骨されている方へ、ご案内させて頂きます。彼岸の中日（20日）の午後2時より、永代供養墓前に合同法要を行います。参加される方は、開始10分ほど前までに永代供養墓前にお集まり下さい。法要時間は30分程度です。

この法要は自由参加で、お布施は永代供養の冥加金に含まれていますので不要です。お気持ちがありましたが、永代供養墓に供花など用意されてはいかがでしょうか。今回のご案内はこの寺報にて行いましたが、いずれ専用のハガキ等でのご案内になる予定です。

## お釈迦様の記念日

日本での一大イベントと言えば、クリスマスでしょうか。大部分の方が仏教徒にも係わらず何とも宗教に寛容な我が日本であります。そんな中、お釈迦様の誕生日を祝う「花まつり」はご存じですか。年配の方ならまだしも、お若い方は「何それ？」かも知れません。メリークリスマスならぬ、メリーシャカ、響きも悪く地味な感じが否めませんね。しかし、自分や大切な人の誕生日のことを思えば、人類史上偉大なお釈迦様の誕生日は、仏教徒にとってとても大切な日ではないでしょうか。折角ですので、お釈迦様の三大記念日を紹介したいと思います。

【花まつり】4月8日

お釈迦様の誕生日を祝う日。綺麗な花が咲く丘で、七宝の鳥の鳴き声が聞こえ、天より甘露の雨（甘茶）が降り注ぐ中、お生まれになつたことから花まつりと言われているようです。また甘茶を頂くと健康でいられるなどの言われることから来ています。（裏面に続く）

## 【成道会】 12月8日

お釈迦様の成道（じょうどう）を祝う日。成道とは、仏になる、悟りを開くこと。お釈迦様がブッダになられた日です。

【涅槃会】 2月15日

お釈迦様が涅槃（ねはん）に入つた日。涅槃とは、すべての煩惱の火が完全に吹き消された境地のこと。お釈迦様が亡くなることをもいます。頭を北に、顔を西に向け、右脇を下にして亡くなられたことから、「頭北面西（右脇臥）」や「北枕」を死姿と称し、忌み嫌うこともあります。印度では、心臓に負担の掛らない寝方であり実践されている方もいるようです。偉大なお釈迦様の死姿ではあります、決して死を招く訳でもなく、悟りの境地に近づける安らかな寝方とも言えるのではないか。仏教徒である私たちは迷信に惑わることのないようにしたいのです。

以上、三つの記念日を紹介しましたが、残念ながら正山寺ではいずれについても特別な行事等を行っていません。まずは、花まつり

を小イベント化してお釈迦様に親しんで頂くのも一考かと。ご意見頂ければ幸いです。

## ホームページの紹介

昨年、地味にですがホームページを刷新したのはご存じでしょうか。お知らせやアルバム、アクセス（案内図やバス時刻表あり）等の情報も載せてあります。アルバムには最近、開山四百年記念法要の様子も載ました。気軽に問い合わせも可能となっていますので、ご利用頂ければ幸いです。アドレスは左下に記載していますが「町田正山寺」でも検索出来るかと思います。（東京都に正山寺は三箇所あるようなのでご注意下さい）

## 総代交代報告

去る12月に、総代であられる小山忠利氏が、76歳にてご逝去されました。ご逝去を悼み、謹んで哀悼の意を表します。

これにともない、新総代として、天野和也氏が就任されましたのでご報告させて頂きます。どうぞよろしくお願ひ致します。

## 坊守のコラム

## あとがき

寒い日が続いても、日が延びるにつれ、春の訪れが近いことを感じます。1月に降った雪で、住職は、息子に懇願され、かまくらを作ることに。雪かき作業後の重労働となりました。息子はテレビで見たのでしょうか。「かまくらの中で椅子に座つてみかんを食べる！」と。私も経験したことのないことを、息子は3歳で満喫していました。さて、そんな息子も、4月からいよいよ幼稚園です。

無事に通い始めることができるでしょうか。落ち着きのなさを心配しております。時折、お墓参りの檀家様の前に自転車に乗る姿を慢気に見せようと/orする息子。どうしたものかと困惑していると「元気が一番よ！」とフオローリして頂くこともしばしば。新たな環境で、先生やお友達と集団生活を送り、家族と離れて過ごす時間。どんな経験を積んでくるのでしょうか。帰宅後、どんな話を聞かせてくれるのでしょうか。寂しくもあり、楽しみでもあり、複雑な親心です。

今年の暮れば、開山記念法要の余韻に浸つておりましたが、新春を迎える気を引き締めて行きたいと思つております。そのキッカケとなる寺報の執筆でもありました。今回、写真もなく文字だけでしたのがいかがだったでしょうか。限られた文字数でまとめるこの難しさを感じつつも、長ければ長い訳でもないと思いますので、当面はこの分量で続けて行きたいと思つています。そして、お会いした時にでも気軽にご意見等頂けると有り難いです。これからもよろしくお願い致します。合掌

寺報「ほっ寺通信」第9号

浄土真宗東本願寺派  
野中山 正山寺

住 職：藤野慶正（発行責任者）  
住 所：〒194-0201 町田市上小山田町1504  
電 話：042-797-1446 FAX：042-797-9233  
U R L：<http://shousan.net>  
メ ラ：info@shousan.net